

## 平成29年度 若槻保育園 「自己評価と学校〔園〕関係者評価」

### 1 園の保育目標

- (1) よく食べよく遊ぶ元気な子ども
- (2) 自分で考え気付ける子ども
- (3) 思いやりのある子ども

### 2 本年度の重点目標

- (1) 食材準備のお手伝い 野菜栽培 散歩と運動遊び
  - ・年長児食材の準備お手伝い 大根、枝豆、ナス、キュウリ、ミニトマト、サツマイモ 栽培
  - ・2歳児1～1.5kmの散歩可能 運動能力テスト実施
- (2) 季節感を大事にした散歩 子どもの気づきを大事にした活動の設定
  - ・どんぐり拾い、虫探し、木の葉拾い、枯れ葉の触感や踏んだ時の音、草の感触、氷や雪と遊ぶ
- (3) 異年齢一緒の活動(遊び) 仲良しトリオ活動 動植物の飼育栽培活動
  - ・大縄飛び、雪だるま作り、そり滑り、仲良しトリオで、カメや金魚の世話、花壇の仕事

### 3 自己評価

- A…十分達成されている                      B…達成されている  
C…取り組んでいるが、成果が十分でない    D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	A (6) B (7)
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	A (11) B (2)
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A (13)
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	A (13)
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A (12) B (1)
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	A (12) B (1)
研修(資質向上への取組)	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A (11) B (2)
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	A (5) B (7)
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	A (5) B (7)
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会(モニター会)を設置している。	A (13)
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	A (10) B (3)
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	C (3) D (10)
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	A (13)
保護者・地域住民との連携	・PTAや学校関係者委員会(モニター会)等で定期的に懇談会を実施している。	A (3) B (10)
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	C (10) D (3)
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A (9) B (4)
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	A (4) B (9)

### 4 学校関係者(モニター)からの評価

- (1) モニター(保護者)から温かく丁寧な保育をしてもらっているという感謝の言葉が聞かれ、モニター(民生児童委員)からも、保護者アンケート結果の中身に触れて、温かく保育を是非継続して、という声が聞かれた。全ての入園児が楽しく過ごし満足感を得られるような保育を目指していきたい。
- (2) 回数多く散歩をすることで体力がついているし、毎月1回行っている避難訓練での落ち着いて避難できるという事例に見られるように、継続することが大切であるという意見があった。
- (3) 専科(英語、音楽、体育)指導の時間を増やせないか、という要望があった。
- (4) テレビ番組で「台所に入りたがる時期」「味覚が発達する時期」について学び、ある時期にしか育たないことがあることを知った。時期を逃さないことが大事だと思う、という意見が聞かれた。
- (5) 小学校に入学してから、勉強も運動も頑張れば間に合うので、保育園では明るく楽しく過ごせるようにという要望があった。

上記(3)～(5)の内容は、学ばせる良い機会であるという考えと、幼児の時期に無理する必要は無い、という相反するものであったが、英会話遊び、音楽遊び、運動遊び、遊びの中で楽しんでいく内容であることを伝え、理解を得られた。

## 5 園長より本年度の取り組みについて

- (1) まだ市立園であり、保護者の大きな変化を望まないという前年度の要望を受けて、従来の保育を継承するように努めてきた。その中で、新たな取り組みである専科指導については、アンケート調査等で関心の高さがうかがえた。
- (2) 温かく丁寧な保育を心がけ、全園児が喜び勇んで登園できるようにと願って取り組んできて、成果につながっていることが、保護者アンケートにも表れている。しかし一部であっても、厳しい指導があったという声が聞かれた点は今後の課題として改めていきたい。
- (3) 園の保育目標についても、前年度までのものを踏襲する形で据えたが、具体的な取り組みに下ろしていくところで、職員任せになっていた点を反省したい。
- (4) 新保育要領の内容について、職員に訴えてはきたが、本格実施年度前であり、次年度から頑張ればよいのでは、といった風が感じられた。主体的に自ら考え判断し行動する子どもに、といったねらいをしっかりと自覚し、どんな場面でどう対処するか、何を準備するか、どうまとめるか、職員みんなで考え試みていく次年度にしたい。